

公益社団法人日本青年会議所関東地区 栃木ブロック協議会

とちぎフォーラム運営委員会

事業報告

とちぎフォーラム運営委員会 委員長 若林 竜一

□委員会設置の背景

人口減少や少子高齢化などの社会構造の変化により、生活基盤が脅かされる状況に対し、私たちは多くの人々をつながり連携を強固にして、先行きの不透明感を打破し、栃木に住む一人ひとりに明るい未来像を描き伝えること。

□事業内容

① J CカップU 1 1 少年少女サッカー全国大会予選会

開催日：7月1日（日） 場所：矢板運動公園

事業目的：

- ・魅力ある人財の育成。
- ・各地域、各世代、ボランティアの方も含め、相互理解を深めること。
- ・地域の未来を支える人財を各地に増やすこと。

内容：

- ・グットルーザーの精神に重きを置いた、県内12チームによるサッカー大会
- ・地域の次代を担う道徳心を持った心豊かな人材の育成。
- ・強固な地域コミュニティ形成を行い交流人口増加促進させ活性化へと繋げること。

②市民を巻き込むとちぎフォーラム

開催日：9月2日（日） 場所：黒磯文化会館、厚崎公民館、厚崎公園

事業目的：

迫り来る社会構造の変化に真摯に向き合い、目指すべき地域の未来の姿とその道筋について、学び考え、輝く未来を切り開くための行動に移していただくこと。

内容：

輝く未来を切り開くフォーラム、事業創造を促進する事業、地域ブランドの価値を高める事業、憲法を学ぶフォーラム、大会式典、那須の楽しい！おいしい市
とちぎフォーラム運営委員会では、輝く未来を切り開くフォーラムと大会式典を担当いたしました。輝く未来を切り開くフォーラムでは、迫り来る社会構造の変化に対し危機感を持ち、自らがまちの未来を切り開いていかなければならない、という意識を持っていただくことを目的に、杉村太蔵氏をお呼びしてのトークショー、トークセッションを行いました。
大会式典では、フォーラム全体の総括の場にするを目的として事業を実施しました。

□目的の検証

【私たちは多くの人々とつながり連携を強固にすることについて】

J Cカップではサッカーというスポーツを通して、子どもたちは試合や交流会を通じ交流を深め、意思の疎通を図ることができました。

また、とちぎフォーラムでの輝く未来を切り開くフォーラムでは、行政とNPO団体の方をお呼びすることにより、我々青年会議所との連携の強固は基より、聞いていただいた市民の方々にも行政と地域団体の連携の大切さを伝えることができました。

【栃木に住む一人ひとりに明るい未来像を描き伝えることについて】

J Cカップでは、相手や仲間を思いやり、負けても勝者を称えるというグットルーザーの精神の大切さを通じ、仲間意識や責任感、犠牲的精神、リーダーシップ、社会性といったものを育む機会としました。これにより、将来を担う人財の育成に寄与したと考えます。

とちぎフォーラムでの輝く未来を切り開くフォーラムでは、新しいことに恐れずチャレンジすること、地域行事へ積極的に参加するなどの、現在行っている活動以外の部分への新たなアクションを起こしていくためのフォーラムとすることができました。さらに、自らが率先して行動する意識を持ち、更なる一歩を踏み出す考えを持っていただく機会となりました。

□最後にまとめとして

とちぎフォーラム運営委員会では、地域市民と手を取り合い、未来の新たな道を想像し、持続発展する栃木を実現する為に一年間邁進して参りました。その持続発展する栃木を広く発信する場がとちぎフォーラムでの輝く未来を切り開くフォーラムでした。

未来の新たな道とは、自らの地域の問題点を知り、その問題点に自分事として考え行動することです。是非メンバーの皆様もChallenge精神をもって持続発展する栃木を目指していただければと存じます。